

財団法人循環器病研究振興財団
平成 23 年度事業報告書

平成 23 年度においては、助成事業、普及支援事業、国庫補助金事業の 3 分野の事業を行った。

【1】助成事業

(344, 429 千円)

1. 公募研究助成

(13, 800 千円)

(1) バイエル循環器病研究助成【研究テーマ：血栓と心疾患】

(12, 000 千円)

[応募数：27 課題]

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1	プラークの破綻から急性冠症候群にいたるダイナミズムの分子細胞機構の解明	伊藤隆史	鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 特任講師	2, 500 千円
2	ストレスによる血栓症発症機序の解明	竹下享典	名古屋大学医学部附属病院 検査部 講師・副部長	2, 500 千円
3	慢性心不全に合併する心房細動により惹起される心房内血栓形成の分子機序の解明	中山博之	大阪大学薬学研究科 臨床薬効解析学分野 准教授	2, 500 千円
4	血小板・血管系で生成されるスフィンゴシン 1-リン酸による心血管恒常性の調節機構と病態での役割	福原茂朋	国立循環器病研究センター 細胞生物学部 室長	2, 500 千円
5	心疾患患者の血小板における低分子量 GTP 結合蛋白質活性の直接評価	白川龍太郎	東北大学加齢医学研究所 助教	2, 000 千円

※5：震災特別枠

《研究発表》 平成 24 年 7 月 20 日（第 44 回日本動脈硬化学会総会・学術集会）開催予定

(2) 循環器疾患看護研究助成

(1, 000 千円)

[応募数：6 課題]

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1	先天性心疾患を有する乳幼児をもつ両親の心肺蘇生法集団指導前後での意識変化	益留慎伍	国立循環器病研究センター 乳幼児病棟 看護師	200 千円
2	心臓外科急性期看護を实践する ICU へ転属となった中堅看護師の看護実践能力形成過程における問題	小西邦明	国立循環器病研究センター ICU 病棟 看護師	200 千円

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
3	循環器病救急初療室でのNPPV治療導入前後の心原性肺水腫患者の身体的・精神的苦痛	藤巻弘史	国立循環器病研究センター 2階東病棟 看護師	200千円
4	心不全看護外来が慢性心不全患者に及ぼす効果	野崎悦代	国立循環器病研究センター 8階東病棟 副看護師長	200千円
5	心臓血管外科術後にICU入室した患児における家族の面会時の想い	山崎幸代	国立病院機構香川小児病院 看護部 副看護師長	200千円

《研究発表会》 平成24年12月15日（国立循環器病研究センター内）開催予定

(3) 日本光電循環器病研究助成

(800千円)

[応募数：6課題]

	研究課題	研究者	所属・職名	助成交付額
1	心拍監視モニターアラームに対する看護師の意識	岡田美子	国立循環器病研究センター 医療安全室 医療安全管理者	200千円
2	成人人工呼吸管理中のNO吸入療法時におけるNO濃度推定理論値の検討	高橋裕三	国立循環器病研究センター 臨床工学部 臨床工学技士	200千円
3	Baby Log 8000 PlusのHFVモードに対してF&P社製ディスプレイ回路EVAQUAは使用できるか？	松本泰史	国立循環器病研究センター 臨床工学部 臨床工学技士	200千円
4	最適な心電図電極の調査・選定	石岡佳記	洛和会音羽病院 CEセンター 臨床工学技士	200千円

《研究発表会》 平成24年12月15日（国立循環器病研究センター内）開催予定

2. 指定研究助成

(329,489千円)

(個別研究)

	研究課題	研究代表者	所属・職名	助成交付額
1	血管病変の早期診断治療における画像処理情報技術の向上に関する研究	飯田秀博	国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部 部長	14,250千円
2	メタボリックシンドロームの動脈硬化症の発症・進展に及ぼす影響に関する基礎的、臨床的研究	宮本恵宏	国立循環器病研究センター 予防健診部 部長	3,000千円
3	遺伝性高コレステロール血症の病態解析、病態に関わる分子の同定と治療への応用	斯波真理子	国立循環器病研究センター研究所 病態代謝部 部長	5,285千円
4	致死性不整脈の病態とその治療法および抗不整脈の薬剤反応性に関する研究	鎌倉史郎	国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門不整脈科 部長	3,500千円
5	和食の脳保護・脳精神機能改善、及び、肥満・糖脂質代謝へ与える効果の検討	柳本広二	国立循環器病研究センター研究所 分子病態部疾患分子研究室 室長	7,125千円
6	弓部大動脈全置換術における超低体温療法と中等度低体温療法のランダム化比較試験	荻野 均	東京医科大学 外科学第二講座 主任教授	900千円

	研究課題	研究代表者	所属・職名	助成交付額
7	生活習慣病合併虚血性心疾患の心血管イベント抑制を目的とした適切な薬物的介入の検討	大塚頼隆	福岡和白病院 循環器内科 部長	2,270千円
8	二管球搭載型マルチスライスCTを用いた心筋灌流評価法の確立	内藤博昭	国立循環器病研究センター 病院長	3,923千円
9	脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立	荻野 均	東京医科大学 外科学第二講座 主任教授	475千円
10	高血圧合併心房細動に対する心拍数調節治療薬としてのカルベジロールの有用性と安全性の検討	清水 渉	国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門不整脈科 部長	2,375千円
11	小児期肺高血圧に対するPD5阻害薬の効果、安全性、薬物動態に関する研究	山田 修	国立循環器病研究センター 小児循環器・周産期部門 小児循環器科 医長	1,425千円

(多施設共同研究)

	研究課題	研究代表者	所属・職名	助成交付額
12	電子血圧計を用いた客観的な高血圧治療に関する研究(HOMED-BP)	今井 潤	東北大学大学院薬学研究科 医薬開発構想寄附講座 教授	4,275千円
13	虚血性心疾患における心電図同期SPECT(QGS)検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究(J-ACCESS)	西村恒彦	京都府立医科大学 放射線診断治療学 特任(名誉)教授	33,282千円
14	スタチン製剤による心血管系への多面的作用—変性による大動脈弁狭窄進展と慢性心房細動における脳卒中に対するスタチン製剤の効果(STACIN)	北風政史	国立循環器病研究センター 臨床研究部 部長	26,585千円
15	家庭血圧に基づいた高血圧の至適治療に関する大規模臨床試験(HOSP研究)	河野雄平	国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 部長	285千円
16	本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究(MAGIC研究) —心筋梗塞、脳梗塞患者などの動脈血栓塞栓性疾患を対象として—	池田康夫	早稲田大学理工学術院先進工学部 生命医科学科 教授	43,068千円
17	脳梗塞ハイリスク例における経口糖尿病薬の脳心血管イベント一次予防効果の検討(PROFIT-J)	山崎義光	大阪大学 先端科学イノベーションセンター 教授	45,092千円
18	経口糖尿病薬による糖尿病からの離脱および動脈硬化抑制研究(PREVENT-J)	加来浩平	川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科 教授	18,983千円
19	遠隔成績からみた術後冠状動脈造影に基づいたバイパスグラフトの選択と使用法に関する日米多施設共同研究	小林順二郎	国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門心臓外科 部長	3,610千円
20	急性脳血管症候群登録観察研究(ACVS registry Study)	内山真一郎	東京女子医科大学 神経内科 教授	38,010千円
21	標準化された脳血流量および神経細胞密度測定に基づくバイパス手術の効果判定に関する多施設共同研究(JET-3)	飯原弘二	国立循環器病研究センター 脳血管部門脳神経外科 部長	4,750千円
22	積極的脂質低下療法による不安定プラークの検討(ALTAIR) —血管内視鏡とIVUSによるプラークの評価—	齋藤 穎	医療法人博鳳会敬愛病院 理事長	66,500千円
23	急性期脳出血への降圧を検討する第Ⅲ相国際多施設共同無作為化臨床試験(ATACH-II)	豊田一則	国立循環器病研究センター 脳血管部門脳血管内科 部長	521千円

3. 学会助成

(1,140千円)

	学 会 名	学 会 内 容	助成交付額
1	第17回日本心臓リハビリテーション学会	会長：後藤葉一（国立循環器病研究センター心臓内科・部長） 会期：平成23年7月16日～17日 会場：大阪国際会議場	361千円
2	第10回日本頭部脳血管治療学会	会長：峰松一夫（国立循環器病研究センター・副院長） 会期：平成23年6月10日～11日 会場：千里ライフサイエンスセンター	779千円

【2】普及支援事業

(28,971千円)

1. 研究成果発表

(1,075千円)

(1) 研究業績集の発行

(82千円)

前年度の指定研究助成、および循環器疾患看護研究助成による研究成果をまとめて大学・研究所等へ配布

(2) 研究発表会の開催

(993千円)

	内 容	詳 細	助成金額
1	バイエル循環器病研究助成研究発表会	前年度分の助成対象者の研究成果を関連学会において発表 [テーマ] 血栓症の病態と治療 [会場] 第52回日本脈管学会総会（長良川国際会議場） [日時] 平成23年10月20日（木）9：30～11：00	865千円
2	循環器疾患看護研究助成	前年度分の助成対象者の研究成果を発表 [会場] 国立循環器病センター・図書館講堂 [日時] 平成24年2月4日（土）13：30～15：30 [特別講演] 「東日本大震災を通じて災害看護を考える」 （災害医療センター・副看護師長 齋藤意子）	128千円

2. 学術活動支援

(10,007千円)

循環器病に関する小規模研究、セミナー等に対する支援

(小規模研究)

	研 究 課 題	研究代表者	所属・職名	助成交付額
1	中心血圧スタディ	河野雄平	国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 部長	950千円
2	めまいと脳卒中の関連についての臨床研究	宮下光太郎	国立循環器病研究センター 脳神経内科 医長	200千円
3	不整脈源性右室心筋症における心磁図を用いた伝導遅延の検討	山田優子	国立循環器病研究センター 心臓血管内科不整脈科 医師	1,000千円
4	降圧治療における併用薬の腎機能におよぼす影響に関する研究	堀尾武史	国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 医長	950千円

	研究課題	研究代表者	所属・職名	助成交付額
5	高血圧治療におけるレザルタスの有効性に関する研究	岩嶋義雄	国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 医師	950 千円
6	高血圧治療におけるイルベサルタンを基軸とした降圧薬の併用療法に関する研究	岩嶋義雄	国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科 医師	665 千円
7	慢性心不全患者におけるアンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬もしくはアンジオテンシン変換酵素阻害剤投与中のレニン・アンジオテンシン動態に関する研究	高濱博幸	国立循環器病研究センター 心臓血管内科 医師	475 千円
8	虚血性心疾患における左室収縮協調不全の頻度とその診断的有用性の検討	木曾啓祐	国立循環器病研究センター 放射線部 医師	950 千円

(セミナー等)

	研究課題	研究代表者	所属・職名	助成交付額
9	久山町 50 周年記念事業	清原 裕	九州大学大学院医学研究院 環境医学 教授	3,867 千円

3. 移植医療支援等事業

(8,668 千円)

循環器疾患に関する移植医療の円滑な実施のための支援 (アグネス基金)

	支援先	支援内容	助成交付額
1	第 8 回心臓移植患者連絡会	[会長] 国立循環器病研究センター・総長 橋本信夫 [会期] 平成23年11月19日(土) 11:00~16:00 [会場] 国立循環器病研究センター・図書館講堂	300 千円
2	移植医療支援	移植後患者 5 名分	8,369 千円

4. 予防啓発活動

(8,221 千円)

(1) 小冊子

(7,670 千円)

『知っておきたい循環器病あれこれ』の刊行

循環器病予防啓発の小冊子を奇数月にそれぞれ 1 万部発行し、国立循環器病研究センター、健康保険組合、講演会などで一般市民に配布

(平成23年度発行分)

No	タイトル	著者	発行月
86	妊娠お産と循環器病	国立循環器病研究センター 周産期・婦人科部 医師 神谷千津子 部長 池田智明	平成23年5月
87	腎臓病と循環器病 - 意外なかかわり -	国立循環器病研究センター 内科 高血圧・腎臓科 医長 中村敏子	平成23年7月
88	脳卒中の再発を防ぐ	国立循環器病研究センター 脳血管内科 医長 上原敏志	平成23年9月
89	足の血管病 閉塞性動脈硬化症 - 症状と治療法 -	国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門・血管科 医師 岡島年也	平成23年11月
90	体を動かそう！ - 運動で循環器病予防 -	慶応義塾大学衛生学公衆衛生学 教授 岡村智教 同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科 教授 柳田昌彦	平成24年1月
91	心臓が大きいと言われたら	国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門心不全科 医師 天木 誠、医長 神崎秀明、 臨床研究部長 北風政史	平成24年3月

(2) 機関誌『季報』の発行 (266千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開など

(3) ホームページの運営 (<http://www.jcvrf.jp>) (158千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開、助成事業の公募など

(4) 市民講座 (127千円)

疾患ごとにテーマを決め、一般市民を対象に循環器病予防に関する知識の普及および啓発のために

講座を開催 (共催：野村証券株式会社)

	演 題	講 師	日時・場所
1	[第14回食と健康セミナー] 今から分かる脳卒中の初期対応法	国立循環器病研究センター 脳血管部門脳血管内科 部長 豊田一則	平成23年6月7日 野村証券大阪支店2階ホール
2	[第17回食と健康セミナー] 心臓発作から身を守る ～食と健康の危機管理～	国立循環器病研究センター 心臓血管内科・中央管理部門 部長 野々木 宏	平成23年9月21日 野村証券大阪支店2階ホール

第14回 食と健康セミナー 参加無料

今から分かる脳卒中の初期対応法

脳卒中は、突然に片側が麻痺したり、「顔が歪む」、「話しが滑らか」、「飲み物の嚥下」、「片足で歩ける」……、その症状があらわれ、緊急です。適切な対応は、脳卒中を重症化の危険性を減らすために非常に重要な要素です。近年の脳卒中の急増は、日本人の健康に深刻な脅威を及ぼしています。早期に適切な対応を講ずることが、脳卒中の重症化を防ぐために非常に重要です。早期に適切な対応を講ずることが、脳卒中の重症化を防ぐために非常に重要です。

講師 国立循環器病研究センター 脳血管内科部長
医学博士 **豊田 一則氏**

【略歴】昭和32年 九州大学医学部 卒業
昭和33年 九州大学医学部第二内科専攻員に入局
昭和36年 国立循環器病研究センター 脳血管内科の心臓科
平成 2年 東京アクト大学医学部内科 助教授
平成14年 国立循環器病研究センター 脳血管内科部長
平成17年 国立循環器病研究センター 脳血管内科部長
平成22年 国立循環器病研究センター 脳血管内科部長
講師に就任

国立循環器病研究センターは、1987年に厚生省(当時)の認可を受けて設立された、国立の総合医療機関です。脳卒中・心臓病・糖尿病・がん・循環器病の予防を推進し、研究の推進や、新しい治療法の開発・予防医療活動などを続けています。

管理の専門家 循環器病研究センター 脳血管内科部長 豊田一則氏

〒540-8604 大阪府中央区平野町3-6-12 TEL. 06-6222-4533(代表)

2011年6月7日(火)
13:30~14:30
野村證券大阪支店 2階ホール

国市中込様ごちから企画
TEL: 0120-00-8657
〒540-8604 大阪府中央区平野町3-6-12 TEL. 06-6222-4533(代表)

第17回 食と健康セミナー 参加無料

**心臓発作から身を守る
～食と健康の危機管理～**

心臓発作は、多くの人が心臓病で死亡する原因です。心臓病は、心臓の機能が低下して、心臓が正常に動かない状態です。心臓病は、心臓の機能が低下して、心臓が正常に動かない状態です。心臓病は、心臓の機能が低下して、心臓が正常に動かない状態です。

講師 国立循環器病研究センター
心臓血管内科・中央管理部門長 **野々木 宏氏**

【略歴】昭和33年 京都大学医学部 卒業、京都大学大学院医学研究科 博士
昭和35年 京都大学医学部 内科
昭和38年 京都大学医学部 内科学専攻員
昭和40年 京都大学医学部 心臓血管内科
昭和42年 エイ・エヌ・エー(株) 医学部 脳神経科 助教授
昭和43年 国立循環器病研究センター 心臓血管内科部長
平成13年 京都大学医学部 心臓血管内科 助教授
平成18年 国立循環器病研究センター 心臓血管内科部長
平成22年 国立循環器病研究センター 心臓血管内科部長
講師に就任

国立循環器病研究センターは、1987年に厚生省(当時)の認可を受けて設立された、国立の総合医療機関です。脳卒中・心臓病・糖尿病・がん・循環器病の予防を推進し、研究の推進や、新しい治療法の開発・予防医療活動などを続けています。

管理の専門家 循環器病研究センター 心臓血管内科部長 野々木宏氏

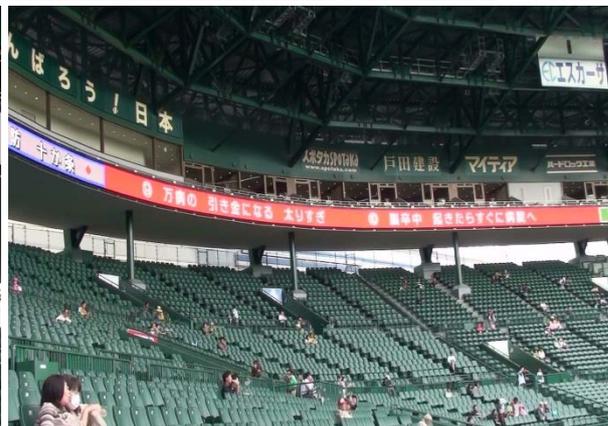
〒540-8604 大阪府中央区平野町3-6-12 TEL. 06-6222-4533(代表)

2011年9月21日(水)
13:30~14:30
野村證券大阪支店 2階ホール

国市中込様ごちから企画
TEL: 0120-00-8657
〒540-8604 大阪府中央区平野町3-6-12 TEL. 06-6222-4533(代表)

(5) キャンペーン

阪神甲子園球場において財団PRと予防啓発



(6) 共催名義使用

	演 題	講 師	日時・場所
1	第14回脳卒中市民シンポジウムおよび 平成23年度脳卒中週間ポスター事業	社団法人日本脳卒中協会 理事長 山口武典	平成23年5月28日 崇城大学熊本市民会館
2	第1回健康講演会 ・倒れた人を救うには ・貧血について	・国立循環器病研究センター 予防健診部長 宮本恵宏 ・吹田循環器病予防友の会 (さつき循友会)	平成23年9月3日 吹田市立千里市民センター
3	第2回健康講演会 循環器病の予防と早期診断の必要性	・国立循環器病研究センター 予防健診部長 宮本恵宏 ・吹田循環器病予防友の会 (さつき循友会)	平成23年11月26日 吹田市民会館

5. その他支援（東日本大震災復興支援）

(1,000 千円)

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の被災者支援として、独立行政法人国立循環器病研究センターが開催する【被災地における“減塩啓発イベント”】（被災地の循環器病予防プロジェクト）に賛同し、読売グループ主催『循環器病チャリティーゴルフ』の基金より同センターに寄付を行った。

【3】国庫補助金事業（特別会計Ⅰ）

(16,789 千円)

厚生労働科学研究（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究）推進事業

	事業区分	支出額	積算内訳
1	外国人研究者招へい事業	-	
2	外国への日本人派遣事業	-	
3	若手研究者育成活用事業	4,702 千円	若手研究者：1人×12ヶ月
4	研究成果等普及啓発事業	11,902 千円	・研究者向け発表会：2日間（50件） ・一般向け発表会：4件
5	研究支援者等活用事業	-	
6	（補助金余剰金）	185 千円	厚生労働省へ返還